



座間小キャラクター
ざまたん

校長のつぼやき^{ぶ?}

座間市立座間小学校
校長 石田 正行

日頃、気づいたことなどをちよつとずつ、つぶやいていきたいと思います。時にはぼやきになってしまうかもしれませんが。なのでつぶやき…。

ホームページを見ていただけるとわかるように、1年生の話題でいっぱいです。1年生を迎える会、初めての避難訓練、初めての給食、初めての外遊び…。楽しいスタートにしてあげたいです。

【1年生の給食】

4月22日、今日は1年生の給食練習です。白衣に着替えた給食当番がろうかに並んでいます。ろうかには番号が書かれたテープが貼ってあります。当番が順に並ぶためです。先生たちも、子どもが迷わないように工夫しています。

この日は、整列・運搬・配膳・片付けなどの練習です。大食缶(スープなどのおかず)だけは、お湯が入っています。あとは空っぽです。本番は24日から。今からニコニコの1年生です。初日のメニューは、ワンタンスープとバナナなど。人生初の小学校給食の感想が気になります。

【1年生校庭デビュー】

4月23日、今日は1年生の校庭遊びデビューです。この日までは、休み時間も教室で過ごしていただけに、休み時間のチャイムとともに、全員が校庭へかけ出しました。黄色帽子が目立ちます。どこにいても分かるので、先生は助かります。鬼ごっこをしても、すぐに居場所がわかります。

この日は上級生がよく面倒をみていました。ほほえましいです。1年生に頼れることで、上級生も成長します。

遊具が減っているなか、校庭には「うんてい」、「のぼり綱」、「ブランコ」、「ジャングルジム」、「タイヤ」、などがあります。「すべり台」はありますが使用できません。「シーソー」や「かいせんとう」は撤去されました。

全国の学校や公園から、危険を理由に様々な遊具がなくなりました。私が子どもの頃は、学校にも公園にも、様々な遊具があり、「ウルトラC!」なんて言って、ちょっとあぶない使い方をしていた記憶もあります。上級生がする離れ業をまねしてけがをしたり…。それで運動神経が鍛えられたなあという印象もありました。

遊具の減少やコロナ禍もあって、子どもたちの運動能力は大丈夫かな、という心配もありますが、1年生が遊ぶ様子を見てみると、身体能力が意外と高いという印象です。



「子どもの頃に小さいけがをいっぱいした子は、大きくなって大けがをしない。」と先輩教師が言っていました。

あそびを通して様々な運動経験をすると、けがもするけど運動神経も発達するということです。昔の子は、「ひざ」や「ひじ」がかさぶただけだったなあと思います。私は、バンソウコウを使いすぎてよく母に怒られました。「よく洗ってほっとけば治る」と言われたものです。



【人生初の小学校給食】



みなさんは、初めて食べた小学校給食を覚えていますか。私は覚えていません。でも、給食が楽しみで、毎朝(前の晩も)献立表をみて登校していました。カレー、ラーメン、あげぱん、ソフトめんの日は心がおどっていました。

今日(24日)は、1年生にとって人生初の小学校給食。登校班で来る1年生に「今日から給食だね」と声を掛けると、満面の笑顔。楽しみにしていたのが分かります。

ホームページにも載せましたが、メニューは、ワントンスープ・ラスク・バナナ・牛乳。ラスクはちょっと堅めにしあげてあります。よくかんで食べるメニューで

す。一人の子が、「歯がぐらぐらするー」と言いながら、一生懸命ラスクに挑戦していると、他の子が「わたし、3本ぐらぐらー」・・・そこから先は、「4本ぬけたー」「おれ5本！」・・・

抜けた乳歯の数自慢が始まってしまいました。歯が抜けている子どもの笑顔ってかわいいですね。

ちなみに「校長先生はね、歯が抜けないようにがんばってるんだ」と言って去りました。